



本柴孔雪五の巻



上野介藤原重名釋



○小鷹 六十四首

あゝ川やけ野にさうのあつぬはさ尾や鷹の志らふ人  
焼野も多く春也雛子あとしはよふ今せう此の焼と  
云詞より黒と多詞をうけり下に白とひもあはむ久て  
あうげり叔孫黒府も雀鵲はさりれとのとちほまをり  
此雀鵲も隼の小さ形ゆくあつぬさる鷹も也當時尾張國又  
伊豫國より関東へ献る或鷹書め此のをさして後ろ  
ふと萩らるぬとくへり